

## 平成30年度コンピュータ会計能力検定試験の 第36回2級第3問の出題形式・解答方法の変更について

### ●第36回2級第3問の出題形式・解答方法の変更について

従来、2級第3問のうち、＜経営分析＞の問題は、第2問で作成した会計データを利用して解答する形式でした。しかし、第36回の＜経営分析＞と＜損益分岐点分析＞の問題では、第2問とは異なる会社の会計データをリストアし、それを利用して解答する形式に変更します。

第3問の問題文には以下の文言が追加されています。

「〇〇株式会社に関する問題は、会計ソフトに組み込まれた機能を利用してえられた数値にもとづき解答すること。ただし、そのうち会計ソフトの機能から解答を直接えられない問題については、別途計算したり、判断したりして解答すること。」

特に＜損益分岐点分析＞に関する問題では、会計ソフトに組み込まれた機能を利用して解答する必要があるため、これまでとは異なる会計ソフトの運用能力が求められることとなります。ただし、従来の試験に出題してきた損益分岐点分析の範囲および内容に変更はありません。

上記の変更点についてご理解のうえ、検定受験に向けてご指導・ご準備ください。

---

公益社団法人 全国経理教育協会

TEL 03-3918-6133

FAX 03-3918-6196